

大阪府も150歳

衣冠束帯に帯刀、今の人から見るとなんとも奇妙な出で立ち。何を隠そう、この人物は初代大阪府知事、醍醐忠順、その人。遙かな昔となった明治、時代の生証人ももはや数えるほどに。平成30年は明治150年、正しくは元号が明治と替わって満150年。

大阪府が誕生したのも明治元年、めでたく150歳を迎えます。いま、近代日本の礎が築かれた明治時代を、その頃の大阪府を、満150年を機に振り返ります。

大阪府公文書館では平成30年度、明治期の大阪府の模様を偲ばせる所蔵資料を、時代の流れに沿って三期に分けて展示します。

第一期のテーマは「明治18年、大阪大洪水の頃」、災害の模様を伝える上奏文、大阪府内の困窮者の様子を記した報告書、洪水の直後に書かれた琵琶湖疏水開削再検討を求める五代友厚、藤田傳三郎の名前で書かれた請願書などに加え、江戸から明治への移行に伴う市井の人々の暮らしぶりの変化を窺わせる古文書も併せて展示します。

展示期間 平成30年4月2日(月)～7月31日(火) 第1期
開館時間 9:00～17:15
土曜日、日曜日、国民の祝日および振替休日は閉館

大阪府中央区大手前2丁目1-22
大阪府庁本館5階 大阪府公文書館
(06) 6944-8373

